



小山 ようこ（創風）

特殊詐欺被害に遭わな
いために対策を！



問／過去3年間の被害件数、被害額はどうか。

答／令和元年は12件、総額1、736万円、令和2年は2件、総額59万円、令和3年は11件、総額3、623万円である。令和4年11月末現在の被害状況は、19件、総額1億1、217万円で、件数、金額ともに過去3年を上回る状況にある。

問／被害を無くすため、特殊詐欺対策機器の普及や啓発活動等の拡充を推進すべきではないか。

答／防犯機能付き電話の導入促進に努めている。近年の特殊詐欺の手口は巧妙化、多様化していることから、被害に遭わないためには、防犯機能付き電話の導入だけではなく、年代を問わず、一人一人が防犯意識をしっかりと持ち、詐欺の手口を知り、対策方法を学ぶことが必要である。

中学校の部活動指導員の今後の取組方針は

問／これまでの成果と課題、今後の取組方針は。

答／成果としては、専門的な技術指導による生徒の活動意欲向上や、顧問の部活動への従事時間削減と精神的な負担軽減が挙げられる。一方で、配置の希望人数に対し、指導員を十分に確保できないことが課題である。引き続き、指導経験豊富な部活動指導員から、地域のスポーツ・文化活動の振興に協力いただけるよう、制度の見直しを含め検討していく。



宮川 大樹（みらい）

HIKAKINさんを
観光大使に！



問／観光大使は、市の知名度を上げる取り組みとして効果的であり、妙高市では世界的に有名な庭園デザイナー石原和幸さん、糸魚川市ではタレントの横澤夏子さん等が観光大使となっている。上越市も観光大使を置く考えはないか。

答／観光大使の設置には、選考方法や活動内容など整理すべき課題があり、今後慎重に研究していく。

問／妙高市出身のHIKAKINさんのYOUTUBEチャンネルでは、当市を「地元上越」として何度も取り上げている。通年観光や教育、地域活力の向上を見据えて、HIKAKINさんに観光大使に就任してもらってはどうか。

答／観光大使の設置をはじめ、誰から就任いただくかなどは今後検討していきたい。

三市連携の状況は

問／妙高市・糸魚川市・上越市の三市議会は、共通課題についての要望活動に毎年取り組んでいる。行政側の三市連携も重要と考えるが、連携状況はどうか。

答／妙高市と共同で消防事務組合を設置しているほか、鉄道、道路建設などの要望活動において連携を図っている。北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、三市を含め関係自治体と連携し、広域観光など地域の発展に向け取り組んでいく。



飯塚 義隆（久比岐野）

保倉川放水路整備計画
の推進



問／保倉川放水路整備計画を推進するため、市が行える対策を進めるべきでないか。

答／道路整備やコミュニティ施設の建設、移転代替地の確保など、分断の影響を軽減する対策を住民に提案し、課題解決に向けて検討する。

副市長の職務分担に保倉川放水路の推進を

問／副市長の事務分担に関する規程に、保倉川放水路・市長公約等の重要案件を特命事項として明記し、事業を推進してはどうか。

答／保倉川放水路の推進に関することは、八木副市長が担任するよう指示した。また、特命事項については、今後検討する。

面川水門に強制排水ポンプの設置を

問／面川水門の管理者である県に対し、強制排水ポンプの設置を求めるべきではないか。

答／近年の気候変動に伴う災害状況を踏まえ、排水ポンプ設置の必要性について県と協議する。

ドローンを活用した地域活性化を

問／ドローン等の最先端の技術を活用した地域活性化の取り組みを推進する考えはないか。

答／ドローンをはじめとする先端技術について、地域の課題解消に向けた活用を見据えながら、先進事例を参考にしつつ、引き続き研究する。